

-私の資産は、まちの資源-
まちの資源として個人資産を活用する
道筋を考える

岡 絵理子(関西大学)

主旨説明：岡 絵理子(関西大学 教授)

討論者：

寺井 元一(株式会社まちづくりクリエイティブ 代表取締役/アソシエーションデザイナー)

相馬 美津子(尼崎市役所/一般社団法人 尼崎家守舎 代表理事)

神吉 優美(神吉不動産株式会社 代表取締役)

生川 慶一郎(京都美術工芸大学 教授)

コーディネーター： 萩巢 友貴(生駒市役所)

戦後の住宅不足を解消するための住宅政策は、未だかつてない多くの地主がいる時代をつくりだした。現在、その地主の二代目が、手に入った家や土地をどのように扱うべきか、持て余している。それが全国に900万戸あると言われる空き家とである。「小さな大家」「素人地主」の大量発生である。

このような空き家を持つ人たちが、その資産を、経済的合理性を求めて運用するのではなく、まちの資源として活用し、所有者自身も人生に楽しみを見出すことができれば、家もまちも地域も幸せになれる、そのような不動産流通はどのような枠組で可能となるのだろうか。

本ワークショップでは、松戸市を拠点に地域づくりを進める寺井元一氏をお迎えし、不動産業ではなく、空き家を活用したまちづくりに事業として取り組むお話を伺い、またさまざまな立場から空き家の地域資源としての活用に取り組む方々にお集まりいただき、個人資産を、まちの地域資源とする道筋について議論する。